

第 1 学年 理科

教科のねらい

- ① 身のまわりで、見られるもの、起きていることについて、科学とのつながりを意識できるようになる。
- ② 自然をより深く知ることで、自然や環境、生命を大切にしようとする心を養う。
- ③ 科学的な見方や考え方を身に付ける。
- ④ 観察・実験の基本的な操作や、安全に対しての配慮を身に付ける。
- ⑤ 自然の事物・現象についての知識を身に付ける。

☆学習を進めるに当たって

使用 教材	教科書 未来へひろがるサイエンス 1 (啓林館) マイノート 副教材 理科便覧 (資料集) (浜島書店) サイエンス問題集 (啓林館)	持 ち 物	教科書 マイノート ノート 理科便覧
学 習 の 進 め 方	《確かな学力を身に付けるには》 ○何が大切なことなのかをしっかりとらえ、頭、体、心もしっかり使って学習しよう。 ○授業や観察・実験には集中して、積極的に取り組もう。 ○落ち着いてじっくり考え、自分の意見をもって学習に取り組み、積極的に発表しよう。 ○分からないところは、調べたり、先生に質問したり、友達に聞いたり、自分で調べたりして分からないはそのままにしておかないようにしよう。 ○ノートやワークシートは、ていねいに書いて他の人が読んでもわかるように書くこと。 《家庭学習において》 ○学校の授業だけですべてを覚えていくのは難しいので、その日のうちに学習したことを確認するようにしよう。 ○マイノートやサイエンス問題集等の問題練習をしながら、自分の理解や知識を確認して身に付けよう。できなかった問題をチェックし、覚えられるまでくりかえそう。 《定期テストにそなえて》 ○見直せば授業で学習した内容が思い出せるような、ノートをていねいに作ろう。 ○テスト前は基礎事項の確認をする。ワーク (サイエンス問題集) の問題の意味を理解し、自分の知識として使えるようにしよう。 ○実験・観察・実習はその方法や結果、考察などをまとめ、見直せるようにしよう。		
学 習 上 の 注 意 等	○気づいたことなど、ノートに見やすく分かりやすくまとめよう。 ○実験・観察においては目的と方法をしっかり頭に入れて、集中して取り組もう。 - 事故のないように十分注意しよう。		

☆学習内容および評価について

学 習 計 画				評価にあたって					
学期	月	単 元 計 画	試験	評 価 観 点		評価の場面・方法			
1	4	身近に見られる生物 「植物のくらしとなかま」 1章：花のつくりとはたらき	中間	関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	・身のまわりのできごとに自ら疑問をもち、追求する意欲があるか。 ・観察・実験に対し、意欲的に根気よく取り組んでいるか。 ・観察・実験レポート、自由研究・課題研究に意欲的に取り組んでいるか。 ・授業中の態度・発表・提出物などがしっかりしているか。	・毎日の授業のようす ・提出物の提出状況 ・始業前の着席、準備、忘れ物などのようす ・授業中の発表、質問等のようす			
	5	2章：水や栄養分を運ぶしくみ							
	6	3章：栄養分をつくるしくみ 4章：植物のなかま分け							
	7	「身のまわりの物質」 1章：いろいろな物質とその性質 2章：いろいろな気体とその性質	期末	科学的な思考・表現	・実験や観察の結果を考察し、共通性や規則性を見出すことができるか。 ・ものごとを科学的な知識を使って説明できるか。 ・自然現象の時間的な流れや空間的な変化をとらえ、規則性を把握・推測できるか。 ・テスト（思考問題）や授業中の活動や発言・レポートの内容が充実しているか。	・観察・実験レポートの内容の状況 ・テスト（思考問題）の達成状況 ・観察・実験での活動内容や授業中の発言内容の状況 ・表現活動(話すこと、書くこと)の様子			
2	9	3章:水溶液の性質	中間				観 察 ・ 実 験 の 技 能	・実験や観察を最後まで根気よく行うことができるか。(後片付け) ・観察・実験器具を安全に留意して正しく操作できるか。 ・安全や正確な実験観察のために、班で協力できているか。 ・観察・実験の結果をノートやレポートにまとめ、処理できるか。 ・図式化やグラフ化、記号を用いた表現ができるか。	・観察や実験の様子 ・器具や道具の扱い ・日常のノート整理、観察・実験レポートの内容 ・テスト（観察・実験の問題）の達成状況 ・課題研究、自由研究の成果
10	4章:物質の状態とその変化								
11	「活きている地球」 1章:大地がゆれる 2章:大地が火をふく	期末							
12	3章:大地は語る								
3	1	「光・音・力による現象」 1章：光による現象	学年末	知識・理解	・基本的な用語を理解し、正しく使うことができるか。 ・自然の事物・現象に関する原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。 ・学習事項を、身のまわりで見られる日常のことがらと結びつけることができるか。	・テスト（知識・理解の問題）の達成状況			
2	2章：音による現象								
3	3章：力による現象								